

## ランチオンセミナー22 スムーズモード™レーザー及び高強度テスラ磁気刺激 (HITS™)療法による見た目と身体のアンチエイジング

**日時** 2021年6月27日(日) 12:30~13:20

**場所** 国立京都国際会館 第7会場 1F Room C-2

**座長** 太田 博明 先生

川崎医科大学 産婦人科学 2 特任教授  
川崎医科大学 総合医療センター 産婦人科 特任部長



**座長** 堀江 重郎 先生

順天堂大学大学院医学研究科 泌尿器外科学 教授



**演者** 「見た目のアンチエイジング：  
粘膜・皮膚のサンドイッチ照射とスキャナを組み  
合わせた2波長レーザーによる顔面たるみ治療」



宮田 成章 先生

みやた形成外科・皮ふクリニック 院長

**演者** 「高強度テスラ磁気刺激(HITS™)療法による  
下部尿路のアンチエイジング」



佐井 雄一 先生

佐井泌尿器科・皮フ科クリニック 院長

<本セミナーでご紹介されているレーザー装置及び高強度テスラ磁気刺激装置情報サイト>

- ◆Fotona レーザー装置 (Fotona社公式HP) [www.fotona.com](http://www.fotona.com)
- ◆インティマレーザー治療 (公式HP) [www.intimalaser.jp](http://www.intimalaser.jp)
- ◆高強度テスラ磁気刺激装置 (フェイスブック) [www.facebook.com/StarformerIntimawave/](https://www.facebook.com/StarformerIntimawave/)

<最新医療情報・セミナーに関するお問合せ>

- TMKメディカル株式会社 <http://tmkmedi.jp> Tel. 052-253-7707 ✉ [t-sato@tmkmedi.jp](mailto:t-sato@tmkmedi.jp) (担当:佐藤)
- ハルテック株式会社 <http://haltek.co.jp> Tel. 0422-27-2400 ✉ [info@haltek.co.jp](mailto:info@haltek.co.jp)

## スムーズモード™レーザー及び高強度テスラ磁気刺激(HITS™)療法による 見た目と身体のアンチエイジング

座長 太田 博明 先生 川崎医科大学 産婦人科学2 特任教授  
川崎医科大学総合医療センター 産婦人科 特任部長

### 1. 見た目のアンチエイジング：粘膜・皮膚のサンドイッチ照射とスキャナを 組み合わせた2波長レーザーによる顔面たるみ治療

演者 宮田 成章 先生 みやた形成外科・皮ふクリニック 院長

現在、たるみに対してはレーザーをはじめ、高周波やハイフ（HIFU）など様々な機器を用いた治療が行なわれている。熱作用による創傷治癒機転の発生によってコラーゲンをはじめとする組織が再構築され、皮膚や皮下組織、筋膜などを引き締めていく。多くの機器治療はダウンタイムを要さず、限定的な効果ではあるものの患者満足度は高い。しかしながら機器治療においてはフェイスラインの引き上げなどを主とした効果で、鼻唇溝や目の下への効果は短期間にとどまるか、不満足なものとなることが多い。

これを解消する方法として、近年Fotona社製SP Dynamis Proを用い、Er:YAGレーザーを断続的なパルス幅発振のsmooth modeにて口腔及び眼瞼粘膜へ照射する治療が行なわれるようになってきた。従来のEr:YAGレーザーの蒸散を主としたものとは全く異なり、粘膜固有層の深さまでの熱作用で引き締め効果を生じさせることで、鼻唇溝や下眼瞼のたるみに対して良好な結果が得られる。また、もう一つの搭載波長Nd:YAGレーザーの同日照射によってその深達性を活かした熱作用から、効果の増強も可能である。しかしながら皮膚表面の強い引き締め効果が小さければ、患者満足度はしばしば不十分となる。そこで、皮膚表面からnon-ablativeにEr:YAGレーザーを照射できるスキャナー、Tランナーをさらに併用して用いることによって、皮膚の引き締め効果、フェイスラインの引き上げ効果を強く得ることも可能となってきた。この照射では麻酔外用剤を塗布して疼痛をコントロールできるというメリットもある。今までにないパルス波形の2波長レーザーでは、その他にも様々な応用が期待されている。

今回、この機器の様々な基礎実験データとともに臨床結果を供覧したい。



宮田 成章

1990年 防衛医科大学校卒業後、防衛医大形成外科及びその関連施設にて研修・勤務。  
その後、札幌医大形成外科勤務。この間、美容外科クリニックにて美容外科の研修。  
1997年 市立室蘭総合病院形成外科医長  
2000年 虎ノ門形成外科・皮ふクリニック院長就任  
2004年 みやた形成外科・皮ふクリニック開設  
現在に至る

座長 堀江 重郎 先生 順天堂大学大学院医学研究科 泌尿器外科学 教授

### 2. 高強度テスラ磁気刺激(HITS™)療法による下部尿路のアンチエイジング

演者 佐井 雄一 先生 佐井泌尿器科・皮フ科クリニック 院長

高齢化社会に入り下部尿路症状を呈する患者が増加、60歳以上の男女の約78%がなんらかの下部尿路症状を有し、男女を問わずQOLを損なっている。

下部尿路症状には蓄尿症状である昼間頻尿、夜間頻尿、尿意切迫感、尿失禁、排尿症状として尿勢低下、尿線分割・尿線散乱、尿線途絶、排尿遅延、腹圧排尿、終末滴下、排尿後症状には残尿感と排尿後尿滴下がある。

原因としては加齢、肥満、便秘、高血圧、糖尿病などが様々な下部尿路症状に共通するリスク因子と報告されているが、特有のリスクとして男性では前立腺肥大が、女性では分娩、特に経産分娩や出産回数が下部尿路症状、特に腹圧性尿失禁、骨盤臓器脱の重要なリスク因子である。治療については薬物療法が主となっており、行動療法としての生活指導や理学的療法も併用され、一定の効果を得ている。

今回高強度テスラを用いた磁気刺激療法であるインティマウエーブにより下部尿路症状、主に尿失禁を中心に治療する機会を得たので、その治療経験と既存治療との違いや優位性につき報告する。



佐井 雄一

1980年 杏林大学医学部卒業  
1980年 名古屋大学医学部大学院 泌尿器科  
1984年 市立四日市病院 泌尿器科  
1987年 刈谷総合病院（現刈谷豊田総合病院）泌尿器科  
2001年 佐井泌尿器科・皮フ科クリニック 開院  
現在に至る